

**研究室名👍 中国文学研究室**

**担当者🎧\* 川口喜治**

**研究領域📖 文学**

**研究地域🌐 中国**

✉️ **kawaguti@fis.ypu.jp**



私は杜甫や李白で有名な中国唐代の古典詩を研究対象としており、看板（研究室名）にも「お笑い」「文学」を掲げていますが、本研究室では**文学だけに限定せず、ひろく中国の文化や思想について考えてゆきます。**

皆さんも**中国文学だけではなく中国にかかわることならば、何をテーマにしてもかまいません。**もしわからないことがあれば、推薦図書の紹介を含めて遠慮なく質問して下さい。



中国文学・文化・思想といえ、何やらコムツカシク聞こえますね。でも、そんなにカタク考えることはありません。**皆さんの興味や身近にあることに結びつけて考えればよいと思います。**

最近の卒業論文では、各自の関心や興味に沿って中国の文化に関するテーマを選び、そのテーマについて様々角度から調べ、それらをもとに**現代の社会や生活に対する提案**を結論として書いた論文が目立ちます。



いくつか例を挙げましょう。

**茶道**について日本と中国を比較・考察し、茶道の精神を活かしながら、どうすれば茶道（お茶の世界）がもっと身近になるだろうかという視点から、**抹茶カフェ、抹茶ソムリエ、プロジェクションマッピングを用いた茶室**などの提案をした論文がありました。

**太極拳**の歴史と現状を調査し、現代の日本において太極拳をより普及させる方策として、**太極拳のアイドルユニット（太極ガールズ 48）**を作ればよいという提案もありました。

漢方（中国の伝統医療）の興味からはじまり、中国の健康観を調べ、**薬食同源・薬膳**を焦点にし、主に**現代の女子をターゲットとした薬膳カフェや薬膳料理**を提案してくれた人もいました。

**書道**の有段者が、中国への1年間の交換留学体験をもとに、日本と中国の書道の違いを調べ、そこから、現代の人々に少し遠い存在になってしまった**書道人気を取り戻すための方策**を提案した論文もありました。



**卒業論文の指導では、毎回、できるところまで執筆してきてもらい、それを一緒に修正してゆかたちで、完成に近づけていきます。教員の指導に従ってれば、自然と卒論が完成する仕**

組みになっていますので、安心してください。

また、中間発表や最終発表の直前には、発表原稿・発表資料のチェックやプレゼンテーションの練習を行ないます。